

# Little Darlings

この夏  体験 スリル接近中!  
— どちらが先に捨てるか競争!! —

# リトル・ダールィンズ

※はつらつ…いま少女から女優へ

※全米TV界の人気スター、映画デビュー作

テータム・オニール ● クリスティ・マクニコル

アーマンド・アサンテ ● マット・ティロン ● マギー・ブライ ● ニコラス・コスター ● クリスタ・エリックソン ● アレクサ・ケニン  
製作スティーブン・J・フリードマン ● 監督ロナルド・F・マックスウェル ● 脚色キーマー・ベック / ダレーヌ・ヤング ● 音楽チャールズ・フォックス

● カラー作品 ● パラマウント映画 / CIC配給



# Little Darlings リトル・ダーリング

★ヘーイ男の子たち!

私達は待っているのよ。

思春期——それは人生のなかでも若やいだ忘れられない日々ですね。大人になるにはもう一歩。かといって私はもう子供じゃ無い、と主張したいそんなと頃。そのくせ見るもの聞くものみな全て好奇心の対象で、とりわけ頭の中は異性の事とSEXの事でいっぱい。知らないから知ってみたい……そんな青春予備軍、青春のふもとにさしかかったローティーンの女の子たちのひと夏の体験が爽やかに描かれます。

かつて「グローイング・アップ」という映画がありましたね。“ミスター・ロンリー”のメロディーによって男の子達の青春が感傷的に描かれました。女の子に翻弄されてほろ苦く、恋や人生の厳しさを知っていく男の子達がいました。この「リトル・ダーリング」はいわば「グローイング・アップ」の女の子版なのです。でも大人がその時期を振り返って、俺達の子供の頃はこうだったなんて、したり顔で見つめ直したような感傷はありません。いままさに青春へアイ・エヌ・ジー。主演のテータム・オニールやクリスティ・マクニコルのキャラクターはある意味できつと今のあなた自身であるかもしれません。

まったく違った生活環境に育った二人のティーンズが、夏休みの間を利用したアメリカの年中行事に欠かせないサマー・キャンプで出逢います。親もとを離れて数週間、湖水の畔のキャンプ場は最低限のルールはあるけれど、あとは自分達の自主活動。ここで二人は最初は挑発しあってライバル意識を持つ

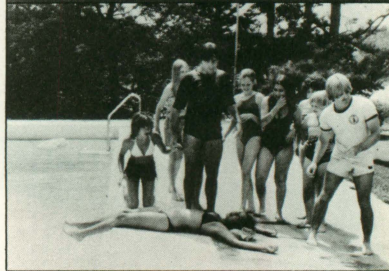
て張り合います。たまたま同室になったグループの中の一人にTVのCMに出演し、14才で“女”になった事を自慢する少女がいます。「体験」を鼻にかけテータムとクリスティに意地悪くけしかけます。「あんた達、まだ経験がないでしょ。このキャンプの間に二人のうちでどっちが先に(C)までいか賭けをしましょうよ」と。二人は負けん気が強いから「ノー」という言葉を言いそびれ、賭けを受けてしまいます。さあキャンプはテータム派、クリスティ派に分かれて大騒ぎ……

真夏の太陽の下、カラッと明るく彼女たちの嘘のない生き生きとした生活ぶりを、時にこっけいに、美しく印象的に描いていきます。

アメリカでは公開と同時にヤングの心をつかんで興行成績二週連続一位(ヴァラエティ紙)になるほど大ヒットを記録したのです。

★テータム(16才)とクリスティ(17才)。  
今ももっともHOTなライバル!!

片や映画界、片やTV界で育ったテータム・オニールとクリスティ・マクニコルは今後のアメリカ映画界を背負って行く女優としてあらゆる点で好敵手です。年齢はもとより、受賞した賞を比べてもそれぞれの分野で最高の賞に輝いているのです。テータムはアカデミー助演女優賞をわずか9才の時に「ペーパー・ムーン」で、クリスティは「ファミリー愛の肖像」シリーズでエミー賞をそれぞれ獲得しています。こんな天才少女が同時代に二人も出現したのですからアメリカ中が、この映画での共演に期待したのです。さて日本のファンの軍配はどちらに?



製作……スチーブン・J・フリードマン  
監督……ロナルド・F・マックスウェル  
監修……チャールズ・フォックス  
音楽……  
キャスト  
ヘスタップ  
フエリス……テータム・オニール  
エンジェル……クリスティ・マクニコル  
デリン……アーモンド・アサンテ  
ランドレイ……マッド・ティロン  
ブライット……マギー・ブライ  
ホイットニー……ニコラス・コスタ

6月14日(土) 知りたいロードショー!!

渋谷 パンテオン (407)7219

新宿 ミラノ座 (202)1189

特別鑑賞券 ¥1,000 絶賛発売中! (一般 ¥1,300/大学 ¥1,200 中・高 ¥1,100 の処)

上映時間 日・祝 10:35 平日 12:40 2:45 4:50 6:55